

2021年10月

お得意様各位

(株)リキマン

「締付けトルク 300N・m 以上のインパクトレンチ使用不可徹底のお願い」

平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

おかげさまで、リキマン金具があらゆる現場でご使用いただけるようになり、これもひとえに皆様方のご支援とご協力のおかげでございます。

さて、昨今、**充電式インパクトレンチ**の締付けトルクが強大化してきており、2020年8月頃からトルク 1,350N・m というものまで市場に出回り始めています。リキマン金具のインパクトレンチによる仮締めは容認してまいりましたが、仮締めという性質上、あくまで規定締付けトルク 300N・m を下回るものでなければなりません。

また、「300N・m 以上で締付ければ問題ない」と認識されている方もいらっしゃるようですが、過大な締付けトルクは危険です。リキマン金具の規定締付けトルク値はあくまでも **300N・m** であり、それ以上でもそれ以下でもありません。たとえリキマン金具であっても 300N・m を超える過大トルクで締付ければ破損の原因に繋がりますし、過小トルクであれば接合部異常や緩みの原因にもなります。そして、この規定締付けトルクを守らなければ性能補償の対象外となってしまいます。

インパクトレンチは単なる締付け工具であり、締付けトルク管理機器ではありません。今後、破損などの事故を未然に防ぐためにも、下記の事項を厳守していただき、施工業者様へのご指導と周知をして頂きますようお願い申し上げます。

[注意事項]

- 締付けトルク 300N・m 以上のインパクトレンチは絶対に使用しない
- 仮締めは 300N・m を下回るトルクで締付ける
- 本締めは専用トルクレンチを使用し 300N・m で締付ける（施工マニュアルを参照）

[予想される不具合]

- 解体時にボルトが緩まない
- 300N・m を超える過大トルクはリキマン金具の破損の原因となる
- 300N・m を超える過大トルクは想定を超えて大きく鋼材を傷つけてしまう
- リキマン金具が破損した場合はスクラップ費用が発生する